

【現場レポート】

水辺の納涼祭

～ 農業農村整備事業をPR ～

＜四国土地改良調査管理事務所・香川用水二期農業水利事業所＞

令和5年8月6日（日）、『水辺の納涼祭』が香川県三豊市財田町にある香川用水記念公園において開催され、多くの人で賑わいました。

このイベントは、水に親しみながら、香川用水への理解を深めてもらおうと、(公財)かがわ水と緑の財団香川用水記念公園及び香川用水記念公園水辺の納涼祭実行委員会の主催で、平成9年の開園から毎年（令和2、3年を除く）開催されています。

イベントでは、公園内を流れる川での「魚すくいどり」、水の資料館での「水に関するクイズラリー」、催しの広場（ステージ）での「目隠しバケツリレー」などのゲーム及びうどんやかき氷などのグルメコーナーのほか、和太鼓演奏など様々な催しが行われました。当日は気温37度を超す猛暑の中、多くの人々が来場し、顔をほころばせながらイベントを楽しむ親子連れの姿が多く見られました。

香川用水記念公園の水の資料館では、四国土地改良調査管理事務所と香川用水二期農業水利事業所が連携して、香川用水と農業との関わり、香川用水二期地区の工事状況、流域治水（田んぼダム）の取り組み等についてパネルで紹介するとともに、各種パンフレットや手作りの下敷きなどを配布し、農業農村整備事業のPR活動を行いました。



【水辺で遊ぶ子供たち】



【事業PRの様子】

資料館内の休憩用スペースにブースを設置していたこともあり、涼を求めて館内を訪れた人がパネルや写真等を見てクイズラリーのヒントを探したり「夏休みの自由研究のテーマとして参考にしたい。」「水路にこんな魚がいるんだね!」といった質問や感想をいただきました。

これらのPR活動を通じて、香川用水の重要性や水の大切さ、農業農村整備事業の役割などを多くの人に知っていただくことができました。